

主な内容

特集 1~2
ゼロカーボンシティ

トピックス 3~4
●北九州市の新型コロナワクチン情報
●「マイナポイント」と「マイナンバーカード」の申し込みをお手伝いします など

すこやかハート北九州 5
情報ステーション 6~11
*最終ページは人口データと若松区の情報



大雨で下水道などから溢れ出す水によって発生した洪水

写真提供: 埼玉県地球温暖化防止活動推進員 松岡壽賀子



海氷の減少によりすみかを奪われたアゴヒゲアザラシ

©Tomo Akiyama

特集 ゼロカーボンシティ

止めよう温暖化。目指そう脱炭素社会。

人間の活動から排出される「温室効果ガス(※)」の増加により、地球温暖化が進んでいます。温暖化は気温や海水温の上昇、洪水や干ばつの発生、動植物の生態系の変化などをもたらし、私たちの暮らしや自然に深刻な影響を及ぼしています。

さらなる温暖化を防ぐため、温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みが、地球規模で進められています。このような世界の動きに歩調を合わせ、本市は2020年10月、「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。温暖化を防ぐ取り組みはSDGs(持続可能な開発目標)の推進にもつながります。

地球環境と北九州市の未来のため、市民一人一人が今、できることを考えてみませんか。

※温室効果ガス…大気中に含まれる二酸化炭素やメタン、フロンガスなどのガスの総称。全体の約75%が二酸化炭素。



環境ストレスにより白化したサンゴ

©Kyoko KAWASAKA



極端な高温で発生したリンゴの日焼け

写真提供: 農研機構 果樹研究所 杉浦俊彦

引用元: 全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ(<http://www.jccca.org/>)

← あなたにもできる脱炭素とは? 詳しくは2ページへ

●「ゼロカーボンシティ」に向けて
今後は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーの導入促進や水素の供給・利活用、企業支援・人材育成などを行い、産業の競争力の強化と脱炭素化を実現する「環境と経済の好循環」の成功モデル都市を目指していきます。

●これまでの脱炭素な取り組み
本市は、これまで持続可能なまちづくりや再生可能エネルギーの導入などを進めてきました。また、脱炭素な生活に向けた身近な取り組みとして、適切な室温管理を行い、エコで快適な仕事環境を整える「クールビズ・ウォームビズ」や、エコ活動によりポイントを貯めることでエコグッズに交換できる「ていたんポイント」などを推進してきました。2008年に始まった「環境首都100万本植樹プロジェクト」では、約74万本(2021年4月時点)の植樹がされています。

ゼロカーボンシティに関する市の方向性

温暖化を防ぐために
温暖化被害を最小限に抑えるためには、工業化による大気汚染がなかった産業革命(1850~1900年頃)前に比べて世界の平均気温の上昇を1.5℃までに抑える必要があります。そのためには2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」の実現が求められています。これは2016年、途上国を含む全ての国が参加した「パリ協定」で定められた世界共通の目標です。

北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル 新型コロナウイルスに関する問い合わせ
☎0570-093-567 FAX.522-8775

北九州市コールセンター 市政・生活情報の問い合わせ
☎582-4894 (1月1日~3日を除く・8時30分~20時) FAX.582-3318